

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月20日

文部科学大臣殿

高知大学長
脇口 宏 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	高知 大学	②所在地:	高知県高知市曙町二丁目5番1号				
③課程名:	土佐フードビジネスクリエーター 人材創出事業(土佐FBC)Aコース	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成25年4月1日 (欄外補足説明)		
⑥責任者:	高知大学長	⑦定員:	5名程度 (直近修了者数:7名)	⑧期間:	2年		
⑨申請する課程 の目的・概要:	土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業(土佐FBC)は、高知県の食品産業の中核を担う専門人材及び 高知県の食品産業の拡充に資する基礎人材を育成することを目的に、地域の産学官が連携し、食品製造・加 工や品質管理技術等の食品の技術に関する講義、マーケティングや経営学、ファイナンスなどマネジメント等 に関する講義、および現場レベルの実習等からなる教育プログラムである。						
⑩4テーマへの 該当の有無	地方創生 (地域活性化)	⑪履修資格:	(1)所属長の推薦を得られる者 (2)大学に在籍されている学生は指導教員の推薦が得られる者 (3)研修プログラムに8割以上参加可能な者				
⑫対象とする職 業の種類:	食品産業従事者						
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 食品製造・加工、マネジメント、品質管理、食品機能の知識・技術・技能 及び実験技術・現場実践、課題研究		(得られる能力) 食品の製造、加工、販売における課題発見・解決能力				
⑭教育課程:	「食品製造・加工」、「マネジメント」、「品質管理」、「食品機能」について、まずは座学により基本的な知識を習得する。この中で ワークショップやディスカッションを取り入れ、受講生同士のバックグラウンドやニーズの理解により自らの課題の発見と解決に向 けた思考を醸成する。さらに、課題解決に資する具体的手法を「実験技術」や「現場実践学」により学び、課題解決の実践として 「課題研究」を大学特任教員からのOJT指導で学ぶことにより、課題発見・解決能力を修得させる。 土佐FBC-Aコース 「食品製造・加工」、「マネジメント」、「品質管理」、「食品機能」160時間、「実験技術」、「現場実践学」80時間、「課題研究」						
⑮修了要件(修 了授業時数等):	研修プログラムの8割以上の出席、試験結果、レポート提出状況にもとづき、「教育専門部会」及び「企画運営 委員会」の審議を経て認定。						
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書及び修了証書「土佐フードビジネスクリエーター(土佐FBC-A)」						
⑰総授業時数:	240～ 時間	⑱要件該当 授業時数:	229	該当 要件	1,2,3,4	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	95%
⑳成績評価の方法:	「食品製造・加工」、「マネジメント」、「品質管理」、「食品機能」の座学および「実験技術」、「現場実践学」の実習 においては、各回授業にて、レポート提出または小テストを課し、授業目標に定める達成度を評価している。「課 題研究」においては、論文の提出と年度末に修了審査会を実施し、各受講生のプレゼンテーションをもとに審査 している。						
㉑自己点検・評 価の方法:	自己点検・評価としては学内に「評価改革機構」を設け、「組織評価」と「個人評価」を毎年度実施している。中でも、「組織評 価」においては、各部署における教育・研究・社会貢献・学部等運営・診療における諸活動が、各部署の理念と目的を実現 するために、どれだけの成果をあげているかを自己点検・評価するものとして位置づけており、土佐FBC事業においても、 実施部署である地域連携推進センターの諸活動として毎年度、自己点検・評価を行い、高知大学のホームページで公表し ている。 加えて、土佐FBC事業に関しては、上述の自己点検・評価とは別に、学外者(3~4名の委員)で構成される外部評価委員会 を設置しており、年1回程度、自己評価書をもとに書面評価やヒアリングを通じた外部評価を実施している。委員は評価の 視点が偏らないよう、教育的視点、産業振興の視点、修了生としての視点など、多様性を持たせている。外部評価結果や 指摘事項対応については、土佐FBCのホームページで公表している。						
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	修了生全員にアンケートの実施(年1回)や、土佐FBCに受講生を送り込んでいる企業の経営層や修了生に対し、個別訪問 ヒアリングを実施するなど、習得した能力を活かした活動の状況や修了生の活躍方策、新たな商品開発や売上、転職状 況等を把握している。また、修了生は同窓会組織である「土佐FBC倶楽部」に所属し、年4回、セミナー形式の会合に参加す るなど、属人的ネットワークも状況の把握・検証に活用している。						

②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 修了生アンケートや個別訪問ヒアリングで聴取した企業等からの要望に基づき、ニーズを踏まえた教育課程を策定するとともに、教育課程を審議する組織として、土佐FBC企画運営委員会内に「教育専門部会」を設置し、授業内容や講師選定について毎年ブラッシュアップを実施している。また、本部会の委員に高知県工業技術センター職員や企業経営者が参画し、意見を取り入れるだけでなく協働で教育を担う体制を構築している。 (自己点検・評価) 前述の「外部評価委員会」の委員に高知県産業振興センターや高知県商工会議所等の機関が参画している。また、土佐FBCの実施を担う「企画運営委員会」においても、委員として本学関係者7名に加え、自治体、企業、JA、地銀等のステークホルダーから12名が参画し、事業改善提案や協働体制の構築など、土佐FBCの企画・運営にかかる中核的な部分で様々な意見を取り入れる仕組みが構築されている。
②④社会人の受講しやすい工夫:	授業時間帯は基本的に夜学を設定しており、業務の都合で急遽欠席した場合も、ビデオ映像で補講ができる体制を構築している。また、受講申し込み時には所属長の推薦を得ることを要件としており、受講しやすい環境を受講生側からも担保している。加えて、いくつかの地方公共団体からは、受講料の一部が支援されるなど、地域との協力体制を構築している。
②⑤ホームページ:	(URL) http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/~ckkc0001/tosafbc/

[補足説明]⑤開設年月日について

土佐FBCは、平成20年～24年度は文部科学省科学技術戦略推進費「地域再生人材創出拠点の形成」プロジェクトのもと実施。平成25年度からは、高知県からの寄附講座及び県内関係機関からの寄附等の支援を受け、自立化のもと実施。

事務担当者名:	小島 真一	所属部署:	研究国際部地域連携課域学連携推進係
連絡先:	(電話番号)088-844-8454 (E-mail)kt03@kochi-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。